

コード No. 18941

**Anti-Human
hnRNP B1 Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

-
- はじめに : hnRNP (heterogenous nuclear ribonucleoprotein) は核内 RNA 結合タンパク質で、約 30 種類が同定されています。これらのタンパク質は核内に豊富に存在しており、pre-mRNA と複合体を形成し、mRNA へのプロセッシングや核外輸送にかかわることが推定されていますが、実際に細胞内でどのような役割を担っているのかはほとんど明らかになっていません。この中の hnRNP A2/B1 タンパクに関しては、肺がんの早期に hnRNP A2/B1 タンパクの発現量が増加する、あるいは、自己免疫疾患の際に hnRNP A2/B1 に対する自己抗体が出現する、といった報告が見られることから、非常に重要な機能を果たしていることが推測されます。
- 免疫抗原 : hnRNP の N 端部分合成ペプチド (KTLETVPLERKKREK)
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 約 0.5 µg/mL にて使用可能
(ホルマリン固定・パラフィン包埋切片、マイクロウェーブ前処理 10 分(10 mM クエン酸緩衝液、pH6.0) が必要)
: ウェスタン・ブロッティング 0.5~1 µg/mL にて使用可能
- 特異性 : ウェスタン・ブロッティングにて確認 (37 kDa)
- 参考文献 : 1. Sueoka E, Goto Y, Sueoka N, Kai Y, Kozu T and Fujiki H. Heterogeneous nuclear ribonucleoprotein B1 as a new marker of early detection for human lung cancers. *Cancer Res.* 59: 1404-1407 (1999)
2. Goto Y, Sueoka E, Chiba H, and Fujiki H. Significance of heterogeneous nuclear ribonucleoprotein B1 as a new early detection marker for oral squamous cell carcinoma. *Jpn. J. Cancer Res.* 90: 1358-1363 (1999)